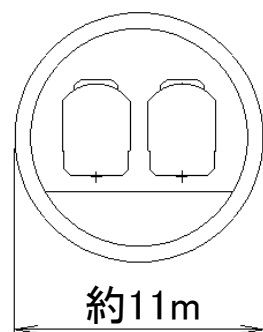
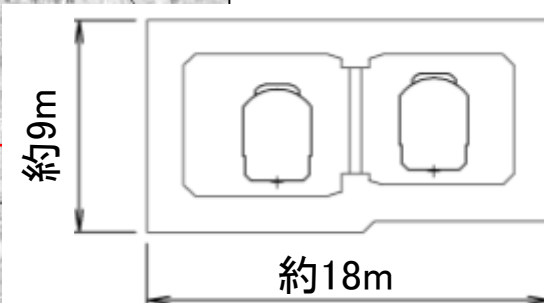


標準断面 (1)



複線トンネル

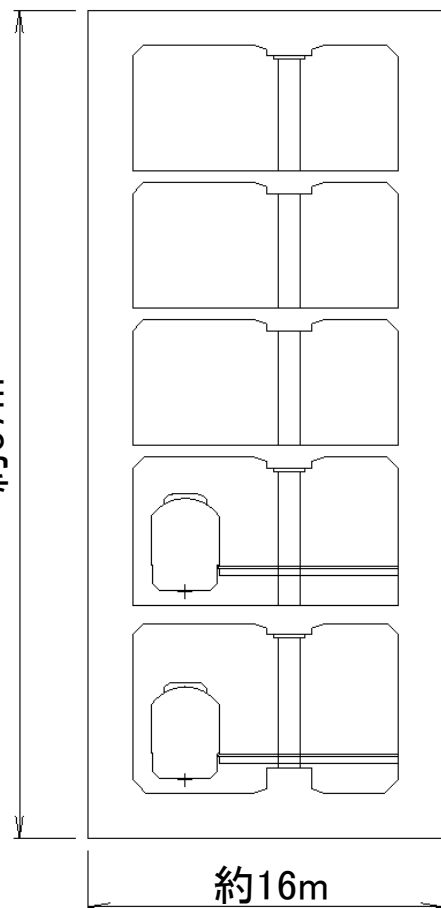


箱型トンネル

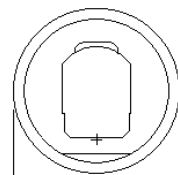
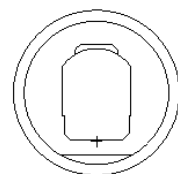
※駅名は仮称

標準断面 (2)

約37m



中之島駅※

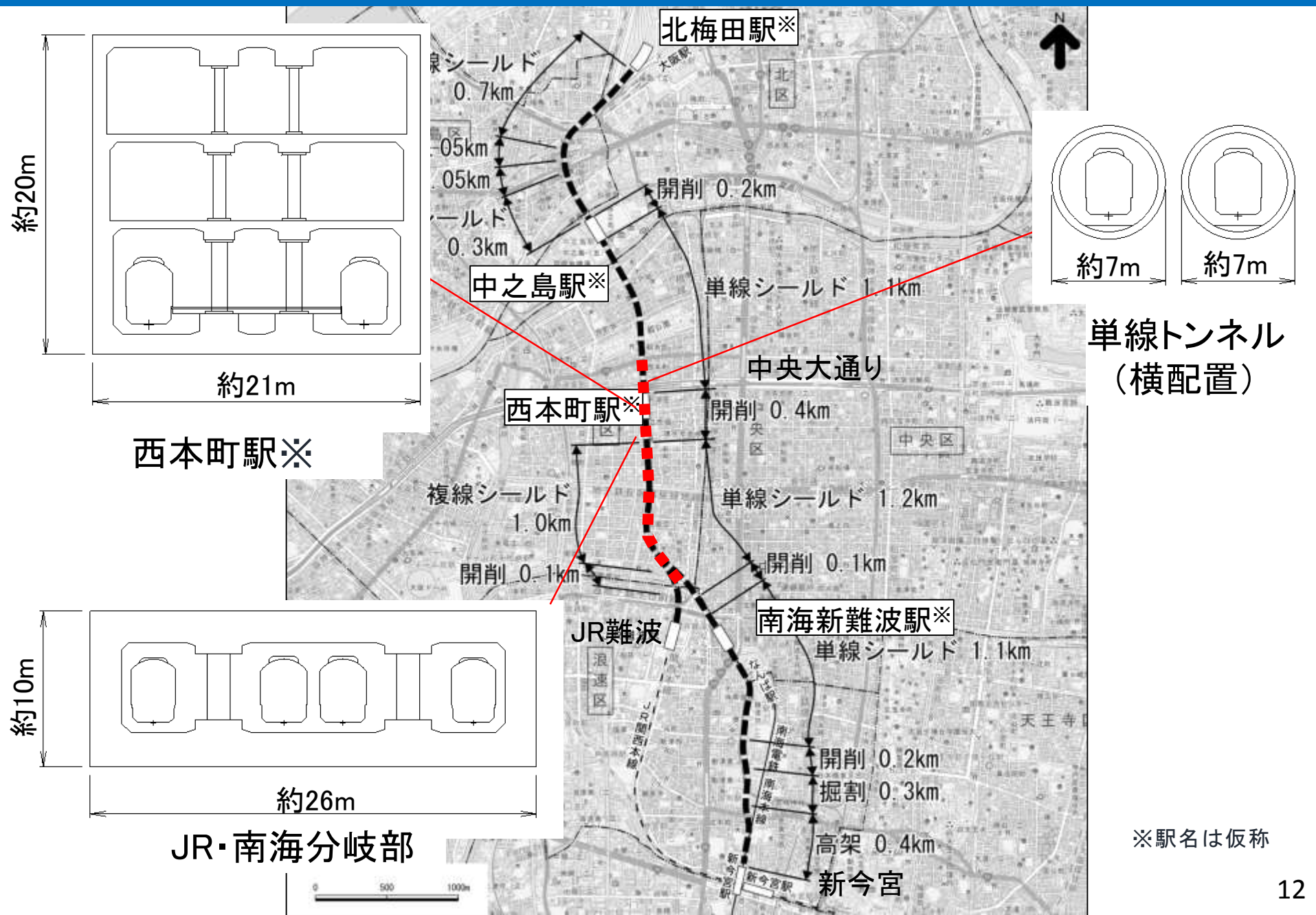


約7m

単線トンネル
(縦配置)

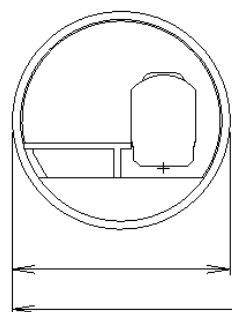
※駅名は仮称

標準断面 (3)



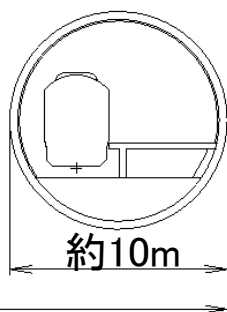
標準断面 (4)

※駅名は仮称

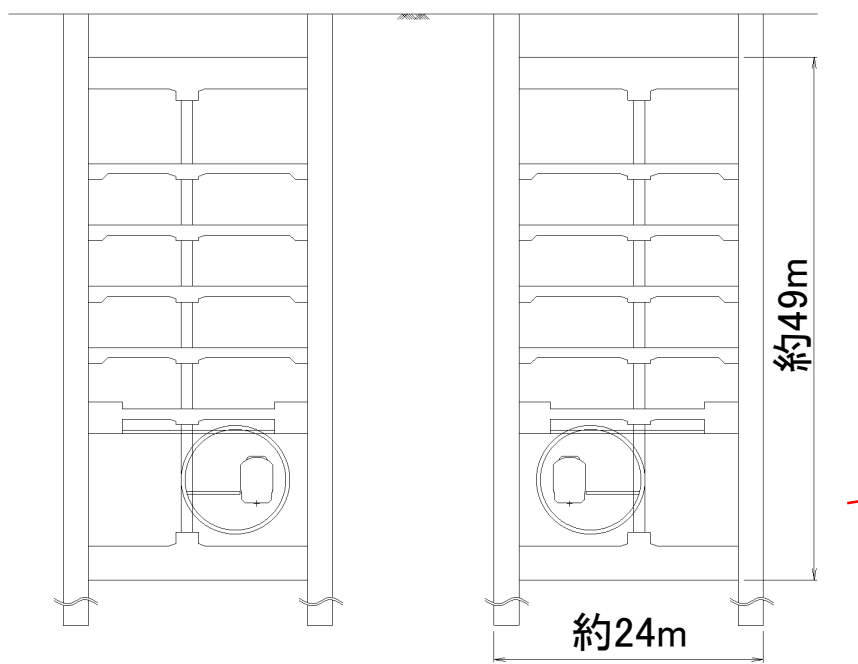


約41m

南海新難波駅※



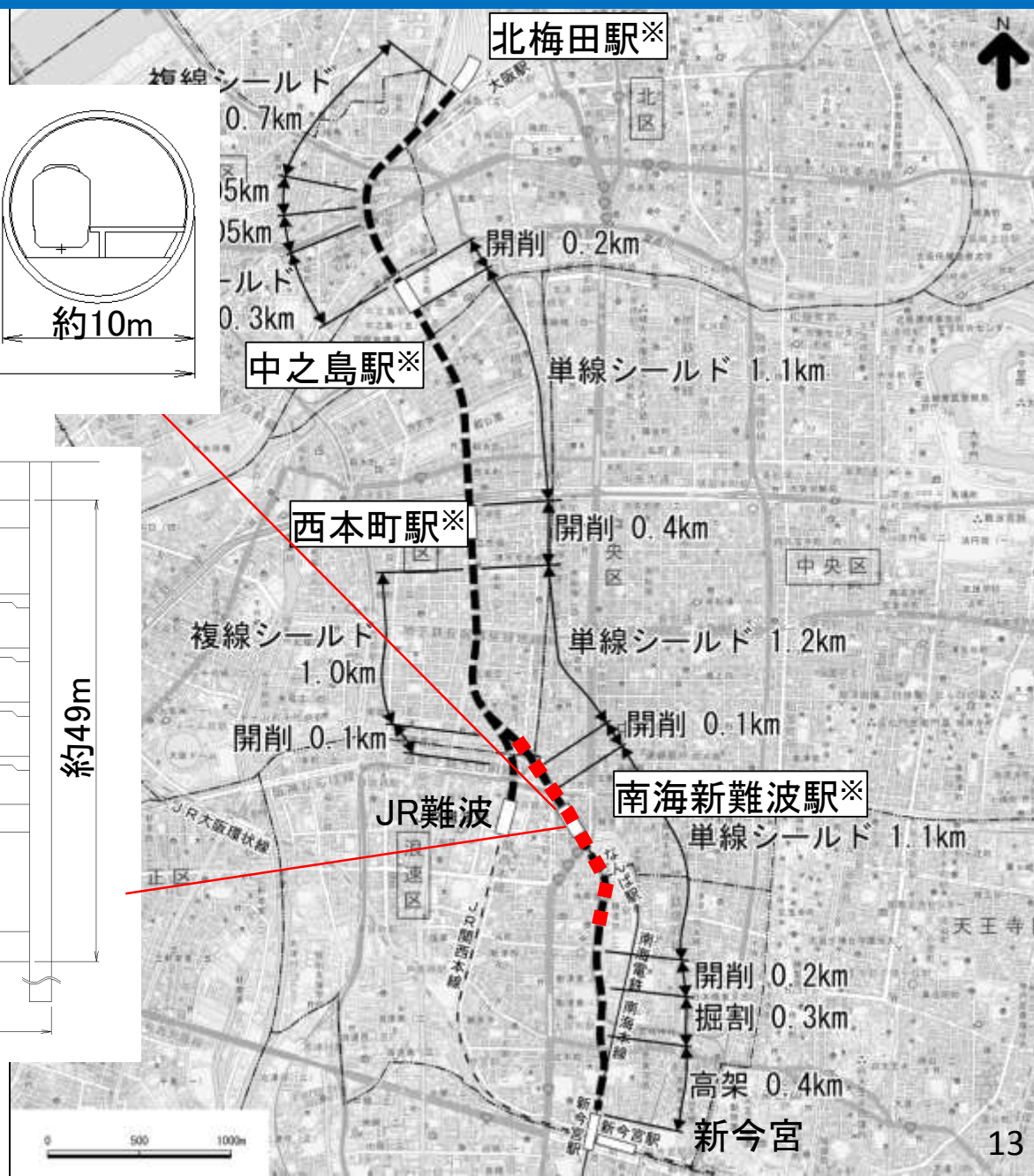
約10m



約24m

約49m

南海新難波駅※
(両端部、駅出入口口)



標準断面 (5)



2) 環境影響評価の概要について

1. 環境影響評価の考え方

- ① 環境影響評価項目の選定
- ② 調査・予測・評価の手法

①環境影響評価項目の選定

環境影響評価項目		環境影響要因							
		施設の存在		施設の利用			施設の建設工事		
		地上構造物 の存在	地下構造物 の存在	列車の 走行	換気施設 の稼働	駅施設 の利用	建設機械の 稼働	工事関連車 両の走行	土地・河川 の改変
1	大気質						○	○	
2	水質・底質								○
3	地下水								○
4	土壌								○
5	騒音			○	○		○	○	
6	振動			○			○	○	
7	低周波音			○	○				
8	地盤沈下		○						○
9	日照阻害	○							
10	電波障害	○		○					
11	廃棄物・残土	廃棄物				○			○
		残土							○
12	水象								○
13	動物								○
14	植物								○
15	生態系								○
16	景観	○							
17	自然とのふれあい活動の場								○
18	文化財								○

②調査・予測・評価の手法

○大阪市環境影響評価技術指針による 現況調査・予測・評価

現況調査：既存資料及び現地調査により現況把握

将来予測：数値シミュレーション等により将来予測

評 価：環境項目ごとに設定した環境の保全目標
と予測結果を照らし合わせて評価

2) 環境影響評価の概要について

2. 環境影響評価の結果

- ① 予測・評価
- ② 環境保全措置

環境影響評価の予測・評価結果（まとめ）

基準又は目標値、参考値を満足及び影響が小さいと予測・評価した項目

- ①大気質(二酸化窒素、浮遊粒子状物質、粉じん等) ⑦低周波音 ⑧地盤沈下
⑨日照阻害 ⑪廃棄物・残土 ⑫水 象 ⑬動 物 ⑭植 物
⑮生態系 ⑯景 観 ⑰自然とのふれあい活動の場 ⑱文化財

環境保全対策を実施することで、回避又は低減されていると評価した項目

- ②水質・底質 ③地下水 ④土 壤 ⑤騒 音 ⑥振 動 ⑩電波障害



事後調査について

大阪市環境影響評価条例に基づく事後調査として施設の利用に係る騒音、振動、低周波音、廃棄物、建設工事中に係る水質、騒音、振動、廃棄物・残土の調査を実施します。



対象鉄道事業に係る環境の保全について、適正な配慮がなされていると評価します。

1) 建設機械の稼働に係る予測・評価

環境影響評価項目		環境影響要因						
		施設の存在		施設の利用			施設の建設工事	
		地上構造物の存在	地下構造物の存在	列車の走行	換気施設の稼働	駅施設の利用	建設機械の稼働	工事関連車両の走行
1	大気質						○	○
2	水質・底質							○
3	地下水							○
4	土壌							○
5	騒音			○	○		○	○
6	振動			○			○	○
7	低周波音			○	○			
8	地盤沈下		○					○
9	日照障害	○						
10	電波障害	○		○				
11	廃棄物・残土	廃棄物 残土				○		○
								○
12	水象							○
13	動物							○
14	植物							○
15	生態系							○
16	景観	○						
17	自然とのふれあい活動の場							○
18	文化財							○

1) 建設機械の稼働に係る予測・評価

① 予測箇所



凡 例

-  : 開削部
又は立坑
-  : 予測を行った
工事区間
-  : 予測地点
(大気質)

1) 建設機械の稼働に係る予測・評価

工事内容

○地下構造部（開削工法部（駅部））

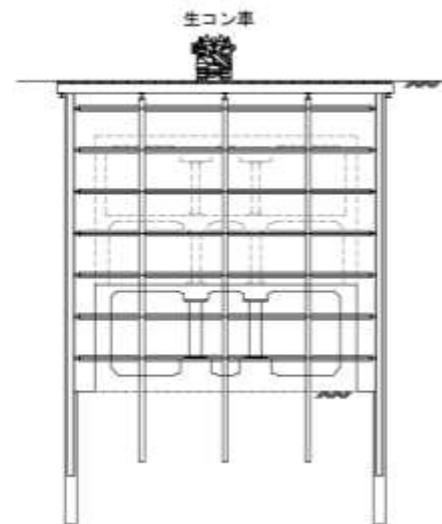
1.土留工



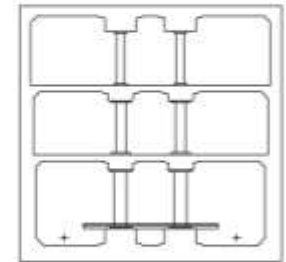
2.掘削工



3.躯体工



4.完成

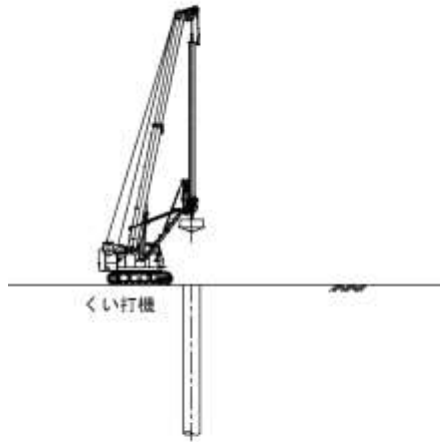


1) 建設機械の稼働に係る予測・評価

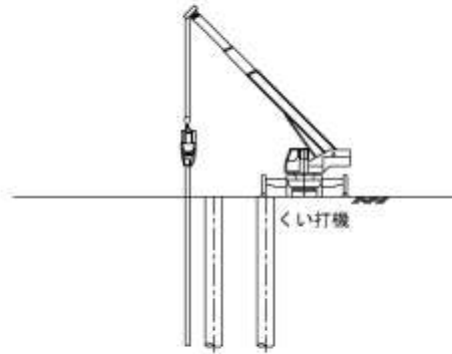
工事内容

○高架構造部

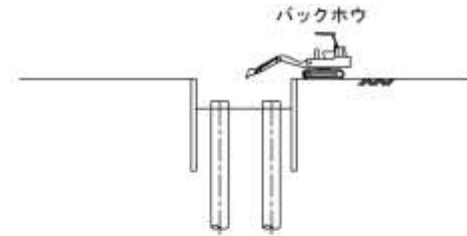
1.場所打ち杭工



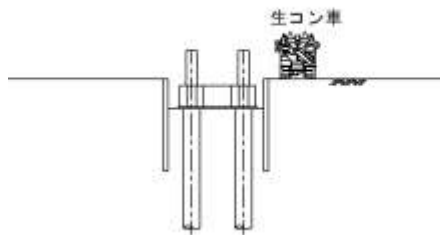
2.土留工



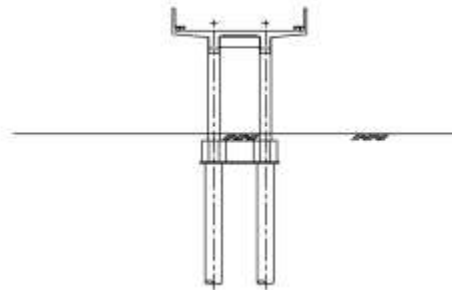
3.掘削工



4.躯体工



5.完成



1) 建設機械の稼働に係る予測・評価

②予測結果：大気質

(予測地点は環境保全施設、高さ1.5m)

予測区間	予測高さ (m)	二酸化窒素 日平均値 の年間 98%値 (ppm)	浮遊粒子状 物質 日平均値の 2% 除外値 (mg/m ³)	予測区間	予測高さ (m)	降下ばいじん (トン／km ² ／月)				
						春季	夏季	秋季	冬季	平均
北梅田立坑	1.5	0.040	0.051	北梅田立坑	1.5	0.6	0.9	1.2	0.8	0.9
国道2号 開削部		0.053	0.055	国道2号 開削部		3.0	3.4	7.1	2.5	4.0
中之島駅		0.058	0.061	中之島駅		2.6	2.8	4.5	1.9	3.0
西本町駅		0.052	0.059	西本町駅		4.7	5.6	2.5	4.7	4.4
JR難波駅 取付部		0.044	0.056	JR難波駅 取付部		1.2	1.5	0.5	1.1	1.1
南海新難波駅 立坑		0.052	0.058	南海新難波駅 立坑		0.1	0.1	0.2	0.0	0.1
開削トンネル部・ 掘割・擁壁部		0.048	0.051	開削 トンネル部		1.9	2.2	1.1	1.8	1.8
高架部		0.049	0.051	掘割・擁壁部		2.0	2.3	1.1	1.9	1.8
基準又は目標 (環境基準)		0.04～0.06 又はそれ 以下	0.10以下	高架部	2.3	2.9	3.4	2.3	2.7	
				参考値※		10				

すべての予測地点において、環境基準または、参考値※以下となっています。

1) 建設機械の稼働に係る予測・評価

②予測結果：騒音

(予測地点は工事敷地境界、高さ1.2m)

予測区間	予測高さ (m)	騒音レベルの90% レンジ上端値(dB)
北梅田立坑	1.2	70
国道2号開削部		71
中之島駅		68
西本町駅		69
JR難波駅取付部		71
南海新難波駅立坑		71
開削トンネル部		69
掘割・擁壁部		67
高架部		71
基準又は目標(規制基準)		85以下

すべての予測地点において、規制基準以下となっています。

1) 建設機械の稼働に係る予測・評価

②予測結果：振動

(予測地点は工事敷地境界)

予測区間	振動レベルの 80%レンジ上端値(dB)
北梅田立坑	60
国道2号開削部	59
中之島駅	62
西本町駅	60
JR難波駅取付部	63
南海新難波駅立坑	60
開削トンネル部	57
掘割・擁壁部	62
高架部	63
基準又は目標(規制基準)	75以下

すべての予測地点において、規制基準以下となっています。

1) 建設機械の稼働に係る予測・評価

③環境保全措置

<大気質>

○最新の公害防止技術、工法の採用

○国土交通省指定の排出ガス対策建設機械の採用や良質燃料の使用等

○万能堀の設置、地上工事実施時の散水

<騒音・振動>

○最新の公害防止技術、工法の採用

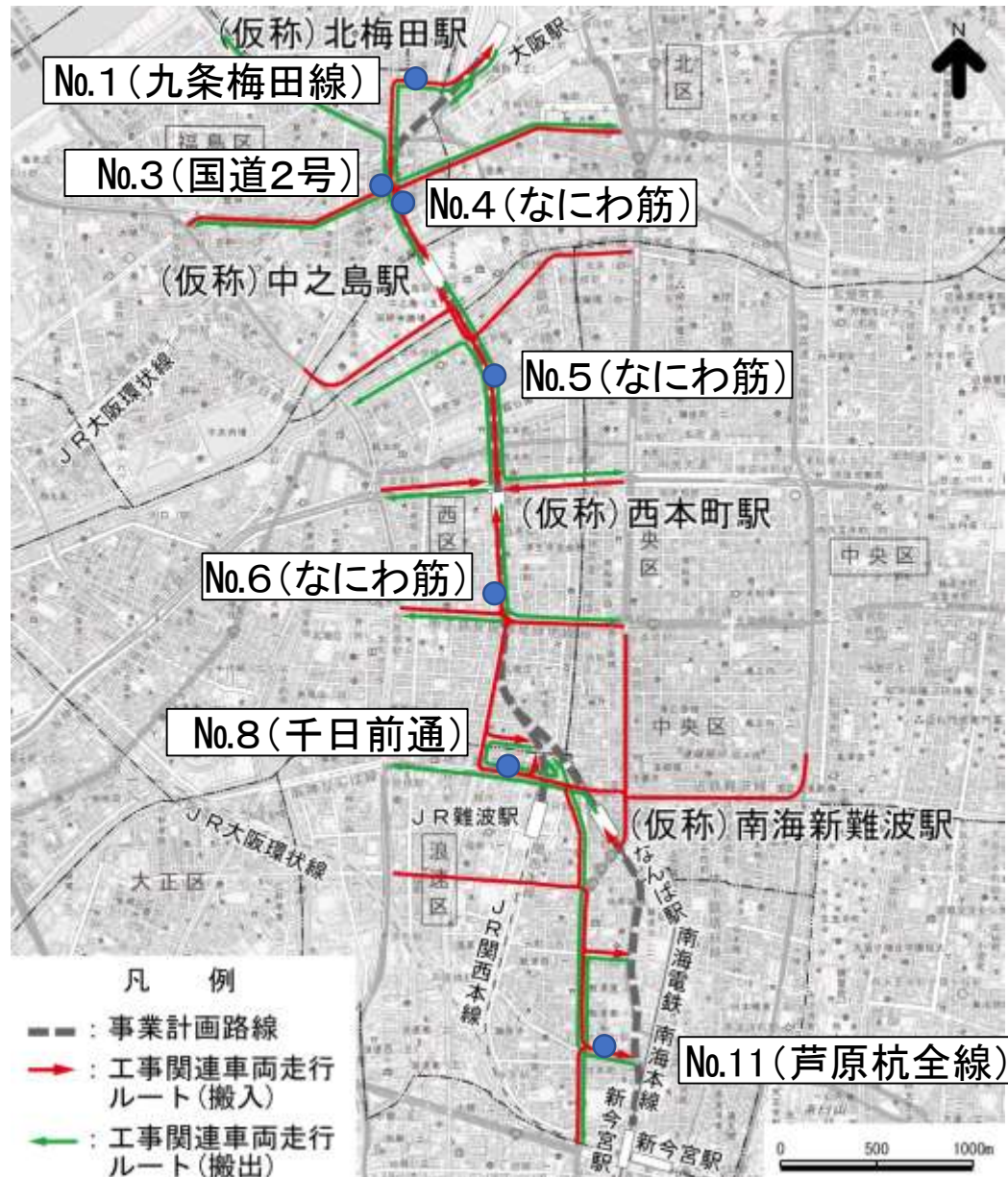
○国土交通省指定の低騒音・低振動型建設機械の採用

2) 工事関連車両の走行に係る予測・評価

環境影響評価項目		環境影響要因						
		施設の存在		施設の利用			施設の建設工事	
		地上構造物の存在	地下構造物の存在	列車の走行	換気施設の稼働	駅施設の利用	建設機械の稼働 工事関連車両の走行	土地・河川の改変
1	大気質						○	○
2	水質・底質							○
3	地下水							○
4	土壌							○
5	騒音			○	○		○	
6	振動			○			○	
7	低周波音			○	○			
8	地盤沈下		○					○
9	日照障害	○						
10	電波障害	○		○				
11	廃棄物・残土	廃棄物 残土				○		○
								○
12	水象							○
13	動物							○
14	植物							○
15	生態系							○
16	景観	○						
17	自然とのふれあい活動の場							○
18	文化財							○

2) 工事関連車両の走行に係る予測・評価

① 予測箇所



2) 工事関連車両の走行に係る予測・評価

②予測結果：大気質

(予測地点は、官民境界、高さ1.5m)

(予測地点は、環境保全施設 高さ1.5m)

予測区間	予測高さ (m)	二酸化窒素 日平均値 の年間 98%値 (ppm)	浮遊粒子 状物質 日平均値 の2% 除外値 (mg/m ³)
No.1 (九条梅田線)	1.5	0.040	0.051
No.3 (国道2号)		0.042	0.052
No.4 (なにわ筋)		0.040	0.052
No.5 (なにわ筋)		0.044	0.057
No.6 (なにわ筋)		0.044	0.057
No.8 (千日前通)		0.048	0.059
No.11 (芦原杭全線)		0.044	0.051
基準又は目標 (環境基準)		0.04～0.06 又はそれ 以下	0.10以下

予測区間	予測高さ (m)	降下ばいじん (トン／km ² ／月)				
		春季	夏季	秋季	冬季	平均
北梅田立坑	1.5	0.002	0.003	0.003	0.002	0.003
国道2号 開削部		0.006	0.006	0.013	0.005	0.007
中之島駅		0.024	0.026	0.042	0.018	0.028
西本町駅		0.046	0.054	0.024	0.045	0.042
JR難波駅 取付部		0.005	0.006	0.002	0.004	0.004
南海新難波駅 立坑		0.001	0.000	0.001	0.000	0.000
開削 トンネル部		0.038	0.045	0.021	0.036	0.035
掘割・擁壁部		0.041	0.048	0.023	0.039	0.038
高架部		0.021	0.024	0.038	0.017	0.025
参考値※		10				

すべての予測地点において、環境基準または、参考値※以下となっています。 30

2) 工事関連車両の走行に係る予測・評価

②予測結果：騒音

(予測地点は官民境界、高さ1.2m)

予測地点	予測高さ (m)	騒音レベル(dB)
No.1(九条梅田線)	1.2	67
No.3(国道2号)		69
No.4(なにわ筋)		66
No.5(なにわ筋)		64
No.6(なにわ筋)		65
No.8(千日前通)		69
No.11(芦原杭全線)		69
基準又は目標(環境基準)		70以下

すべての予測地点において、環境基準以下となっています。

2) 工事関連車両の走行に係る予測・評価

②予測結果：振動

(予測地点は官民境界)

予測地点	振動レベルの 80%レンジ上端値 (デシベル)
No.1(九条梅田線)	49
No.3(国道2号)	36
No.4(なにわ筋)	44
No.5(なにわ筋)	49
No.6(なにわ筋)	49
No.8(千日前通)	45
No.11(芦原杭全線)	47
基準又は目標(要請限度)	70以下

すべての予測地点において、要請限度以下となっています。

2) 工事関連車両の走行に係る予測・評価

③環境保全措置

<大気質・騒音・振動>

- 通行時間帯の配慮、輸送効率の向上、運転者への適正走行の周知徹底等
- 幹線道路や高速道路の優先利用による、交通渋滞の防止や歩行者等の交通安全確保
- アイドリングストップ、空ぶかしの防止等